



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社 エコミック  
コード番号 3802 URL <https://www.ecomic.jp>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 熊谷 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 荒谷 努

TEL 011-206-1103

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,680	3.6	46	73.5	60	69.1	33	75.3
2024年3月期第3四半期	1,743	3.3	177	4.1	194	8.6	135	13.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 48百万円 (66.4%) 2024年3月期第3四半期 143百万円 (27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	7.13	
2024年3月期第3四半期	35.43	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	2,132	1,811	85.0
2024年3月期	2,110	1,819	86.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,811百万円 2024年3月期 1,819百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		12.00	12.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	6.7	225	30.6	230	25.2	162	27.2	34.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	4,693,200 株	2024年3月期	4,693,200 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	60 株	2024年3月期	60 株
------------	------	----------	------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	4,693,140 株	2024年3月期3Q	3,823,822 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済の景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。ただし、欧米における高い金利水準の継続や、中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

当業界におきましては、企業の人手不足感が高い水準で推移しており、加えて定期給与及び現金給与総額の増加など雇用・所得環境が変化する中で、企業の効率化、省力化への動向が続き、事業再構築やBCP（事業継続計画）の手段としてのアウトソーシングニーズは引き続き高い状況でありましたが、その分競争環境も激化しております。

そこで当社グループは、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対しバックヤード業務に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業の生産性向上の観点から、HRテックの導入などのDXの推進や、アウトソーシングサービスの提案を行い、あらゆる企業から管理部門のルーティンワークを無くすべく、「バックヤード業務のソリューションプロバイダー」として付加価値の高いサービスの提供を行ってまいりました。また、新規顧客の創出のためのWEBマーケティング施策への投資や、エコミックブランドステートメントとして定めた「信用と品質に基づくプロ集団が、ソリューションを提供する」という方針のもと、社員一人ひとりがプロとして顧客企業へのソリューションを提案してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は1,680,807千円（前年同四半期比3.6%減）、営業利益は46,990千円（前年同四半期比73.5%減）、経常利益は60,190千円（前年同四半期比69.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33,470千円（前年同四半期比75.3%減）となりました。

なお、当社グループは、BPO事業とソフトウェア・ハードウェア開発事業を展開しておりますが、BPO事業を主要な事業としており、ソフトウェア・ハードウェア開発事業については量的な重要性が乏しくなったため、その他事業として記載しております。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### (BPO事業)

BPO事業の売上高については、新規顧客獲得に向けた施策を実施し、給与計算BPOにおいてはわずかな増加、年末調整BPOにおいては前年同水準となった結果、BPO事業全体では前年同四半期に比べわずかな増加となりました。具体的には、給与計算BPOにおいては、サービス比較サイトへの出稿などのWEBマーケティング施策や既存顧客からのご紹介などにより、お問い合わせ件数、受注件数ともに増加いたしました。業務の稼働開始までの立ち上げに期間を要する顧客が複数あるため、売上高はわずかな増加に留まっております。また、年末調整BPOについても、ランディングページを作成するなどブランディングを強化しておりますが、前年同四半期とほぼ同水準での推移となりました。

営業利益については、給与計算BPOの足元の受注は好調ではありますが、前述のマーケティング投資に加えて、業務体制強化のための投資により、前年同四半期に比べ下回る結果となりました。具体的には、当社においては人材確保に向けた賃上げを実施し、正社員の月例給与を平均約6%、パートタイム社員の時給を平均約7%引き上げ、さらに一部部門を新規オフィスに移転し増床を実施いたしました。また、オフショア拠点である中国の子会社においても、人員体制を強化し、業務フロアの増床を実施いたしました。これらの投資により、広告宣伝費、人件費、移転費用、賃料などが増加し、売上原価、販売費及び一般販管費を大きく引き上げることとなりました。

以上の結果、BPO事業の売上高は1,672,628千円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益は70,189千円（前年同四半期比62.0%減）となりました。

#### (その他事業)

その他事業として、ソフトウェア・ハードウェア開発事業を展開しております。ソフトウェア・ハードウェア開発事業については、株式会社ビズライト・テクノロジーの主力事業としてAI及びIoTに関連するハードウェア製品、ファームウェア製品、そして受託ソフトウェア開発等を行ってまいりましたが、前連結会計年度において当社のサービス強化のためのソフトウェア開発に集中させました。その結果、その他事業の売上高は78,448千円（前年同四半期比42.6%減）、営業利益は8,097千円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,731,853千円となり、前連結会計年度末に比べ9,484千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が793,220千円減少した一方、年末調整処理業務に係る売上高の計上等により、売掛金が785,564千円増加したこと及びその他の流動資産が19,471千円増加したことによるものであります。固定資産は400,156千円となり、前連結会計年度に比べ11,953千円増加いたしました。これは主にのれんが11,754千円減少した一方、その他有形固定資産が22,924千円増加したこと及びその他無形固定資産が10,395千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,132,010千円となり、前連結会計年度末に比べ21,438千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は212,456千円となり、前連結会計年度末に比べ38,136千円増加いたしました。これは主にその他の流動負債が13,408千円減少した一方、買掛金が51,311千円増加したことによるものであります。固定負債は108,228千円となり、前連結会計年度末に比べ8,492千円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が8,755千円増加した一方、長期借入金が17,247千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は320,685千円となり、前連結会計年度末に比べ29,644千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,811,324千円となり、前連結会計年度末に比べ8,205千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が22,847千円減少した一方、為替換算調整勘定が14,641千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は85.0% (前連結会計年度末は86.2%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に発表いたしました2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)通期の連結業績予想について、BPO事業においての新規受注は堅調に推移している状況ではありますが、その立ち上げ時期、金額の変動など不確定要素が多くあるため、変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,491,545	698,325
受取手形及び売掛金	173,847	959,411
製品	3,685	1,970
原材料	141	—
その他	53,249	72,721
貸倒引当金	△101	△575
流動資産合計	1,722,368	1,731,853
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品 (純額)	54,129	47,432
その他 (純額)	7,677	30,602
有形固定資産合計	61,807	78,035
無形固定資産		
ソフトウェア	182,280	179,263
のれん	48,298	36,544
その他	919	11,314
無形固定資産合計	231,497	227,122
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,220	8,696
敷金及び保証金	59,078	60,144
その他	30,597	26,156
投資その他の資産合計	94,897	94,998
固定資産合計	388,202	400,156
資産合計	2,110,571	2,132,010
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,978	76,290
1年内返済予定の長期借入金	23,327	13,514
未払金	12,880	15,976
未払法人税等	11,651	18,603
その他	101,481	88,072
流動負債合計	174,319	212,456
固定負債		
長期借入金	91,101	73,853
繰延税金負債	25,620	34,375
固定負債合計	116,721	108,228
負債合計	291,041	320,685

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,284	564,284
資本剰余金	399,199	399,199
利益剰余金	799,926	777,079
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,763,375	1,740,527
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	56,155	70,796
その他の包括利益累計額合計	56,155	70,796
純資産合計	1,819,530	1,811,324
負債純資産合計	2,110,571	2,132,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,743,951	1,680,807
売上原価	1,199,121	1,222,104
売上総利益	544,830	458,702
販売費及び一般管理費	367,471	411,712
営業利益	177,358	46,990
営業外収益		
受取利息	2,139	2,585
受取手数料	4,549	5,170
助成金収入	6,504	6,205
保険解約返戻金	6,437	-
デリバティブ評価益	1,856	5,688
その他	204	742
営業外収益合計	21,691	20,391
営業外費用		
支払利息	1,315	998
為替差損	2,864	6,173
その他	346	19
営業外費用合計	4,526	7,191
経常利益	194,523	60,190
税金等調整前四半期純利益	194,523	60,190
法人税等	59,031	26,719
四半期純利益	135,491	33,470
親会社株主に帰属する四半期純利益	135,491	33,470



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	135,491	33,470
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,580	14,641
その他の包括利益合計	7,580	14,641
四半期包括利益	143,072	48,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,072	48,111

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	BPO事業			
売上高				
給与計算関連サービス	1,541,769	—	—	1,541,769
ソフトウェア・ ハードウェア開発	—	87,566	—	87,566
BPOその他サービス	114,615	—	—	114,615
顧客との契約から生じる収益	1,656,384	87,566	—	1,743,951
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,656,384	87,566	—	1,743,951
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	49,087	△49,087	—
計	1,656,384	136,654	△49,087	1,743,951
セグメント利益	184,894	7,891	△15,427	177,358

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア・ハードウェア事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	BPO事業			
売上高				
給与計算関連サービス	1,565,594	—	—	1,565,594
ソフトウェア・ ハードウェア開発	—	8,179	—	8,179
BPOその他サービス	107,033	—	—	107,033
顧客との契約から生じる収益	1,672,628	8,179	—	1,680,807
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,672,628	8,179	—	1,680,807
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	70,268	△70,268	—
計	1,672,628	78,448	△70,268	1,680,807
セグメント利益	70,189	8,097	△31,297	46,990

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア・ハードウェア事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、ソフトウェア・ハードウェア開発事業について量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントから「その他」に変更しております。

なお、前第3四半期連結会計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	78,771千円	76,764千円
のれんの償却額	11,754	11,754